

指定管理業務評価結果書

1. 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	津山圏域雇用労働センター
(2) 指定管理者	所在地 津山市山下92-1 名称 津山広域事務組合 代表者 管理者 津山市長 谷口 圭三
(3) 公の施設の所管部署	仕事・移住支援室
(4) 指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
(5) 評価対象期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日

2. 施設の利用状況

(1) 利用者数等	年間利用者数 24,645人 (前年度26,993人)
(2) 事業の内容	雇用労働関係事業の開催及び一般貸館事業

3. 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	33,843千円 (前年度14,487千円)
	基金繰入金	20,520千円
	利用料金収入	9,077千円
	指定管理料	3,394千円
	その他の収入	852千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	29,891千円 (前年度10,074千円)
	主な支出 人件費	3,802千円
	光熱水費	2,609千円
	消耗品費	127千円
	修繕料	20,588千円
	委託料	2,317千円
	使用量及び賃借料	221千円
	備品購入費	227千円

4. 総合評価結果

<p>(1) 指定管理者の自己評価</p>	<p>自然災害による臨時休館や大ホールで販売を行う 10 割増し料金の団体の利用が減少したため、利用者数・利用料は減少している。今後も広報を行い、利用者数の増加を図りたい。</p> <p>また、複数の部屋の同時利用時や利用者数の多い利用時に、駐車場が不足する事態が生じている。新たな駐車場の確保は困難であるため、施設利用の案内を行う際や、申込用紙の注意書きで、乗り合わせや公共交通機関の利用の呼びかけを継続していきたい。</p> <p>今年度は、基金から 20,520,000 円の取り崩しを行い、老朽化したエレベーターの修繕を行った。今後も、雇用労働センター内の設備等劣化している部分がみられるため、計画的に修繕が行えるよう予算を確保する。</p> <p>予算不足により定期清掃の仕様変更があったため、数年に 1 度は高所作業の清掃を検討したい。</p> <p>また、施設備品の AED は本体耐用年数経過のため、リースと経費比較し、備品として購入した。貸出用備品のプロジェクターも修繕見積額が購入額より高額となったため、新規に購入した。今後は持ち込み PC の HDMI 端子にも対応可能となった。</p>
<p>(2) アンケート調査の概要</p>	<p>73 日の利用者アンケートを実施した。</p> <p>利用会議室の内訳では、第 1 会議室と第 2 会議室の利用が全体の 3 分の 2 を占めている。また、和室の利用も高く、控室等で他の部屋と一緒に予約をする利用方法がみられた。</p> <p>利用者の感想について、利用料は「安い」もしくは「ふつう」の回答が多く、他の施設に比べ利用しやすい料金となっていることがわかる。</p> <p>また、雇用労働センターをどのように知ったかという問いに対し、「以前利用した」との回答が多く、リピート率が高いことがわかる。今後は、新規利用者の開拓も進めていきたい。</p>
<p>(3) 市の評価</p>	<p>自然災害などのやむを得ない事情があり、利用者数・利用料は昨年</p>

	<p>度から減少したが、アンケート結果についても、「満足」「ふつう」との意見が多数を占め、「不満」という声が非常に少ないこと、また備品の更新を行うなど利用者に対して不便を感じさせない取り組みは評価できる。特に「清掃もゆき届いていてトイレもきれい」という意見を受けていることには注視したい。</p> <p>駐車場の不足については、毎年意見が出ているため、利用者に対して不便を感じさせないよう工夫し、使いやすい施設となるよう引き続き努めること。</p> <p>今後も中心市街地に位置するという立地条件のメリットを活かし、一層の広報活動により利用促進を図ることを期待する。</p>
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------